



2018年 国際女性デー中央大会



改憲ストップ!

核兵器なくそう!
戦争ではなく平和を!

世界の女性と手をつなぎ、ジェンダー平等へ!

プログラム

講演

「紛争地に生きる子どもたち
—取材から見えてきたこと—」

文化行事

- コーラス (女性のうたごえ東京連絡会)
早春賦 おくりもの
女たちのパレード 他
- 交流と連帯のひろば ●アピール採択

入場無料 どなたでもお気軽にご参加ください。

日時 **2018年 3月8日 木**
18:30~20:40 (18:00開場)

会場 **品川区立総合区民会館
品川きゅりあん大ホール**
(〒140-0011 品川区東大井5-18-1)

フォトジャーナリスト
安田 菜津紀さん



プロフィール

◆1987年神奈川県生まれ。◆studio AFTERM ODE所属フォトジャーナリスト。◆16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。◆現在、カンボジアを中心に、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。◆2012年、「HIVと共に生まれる—ウガンダのエイズ孤児たち—」で第8回名取洋之助写真賞受賞。◆写真絵本に『それでも、海へ 陸前高田に生きる』（ポプラ社）、著書に『君とまた、あの場所へ シリア難民の明日』（新潮社）。『写真で伝える仕事—世界の子どもたちと向き合って—』（日本写真企画）。◆上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

案内図



最寄りの交通機関 | JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線
「大井町駅」下車徒歩1分

主催

2018年国際女性デー中央大会実行委員会

連絡先: 日本婦人団体連合会 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-11-9-303 Tel.03-3401-6147

International Women's Day 2018



女性に対する暴力根絶をと訴えるイタリア女性

世界の女性 は連帯する 平和、生活の向上、 ジェンダー平等めざして

国際女性デーは、歴史の作り手である普通の女性の物語である。それは男女平等のために、女性たちの社会参加と社会変革を求める幾世紀にもわたるたたかいに根ざしている。

——1995年国連文書より

3月8日は国際女性デー

安倍政権は9条改憲の動きを加速し、2018年の通常国会への提出、発議をめざしています。被爆者や世界中の核兵器廃絶を求める運動により、国連で核兵器禁止条約が採択されました。唯一の被爆国日本政府は条約に背を向けています。また、いのちと人権をおびやかす労働法制の大改悪もねらっています。

私たちは「9条改憲を許さない」「軍事費を削って教育・社会保障に」「8時間働いたら暮らしていける賃金を」ととりくみを強めています。平和とジェンダー平等の実現に向けて、世界の女性たちと連帯していきましょう。



2017年、国際女性デー中央大会

国際女性デーのルーツと歴史

20世紀初頭、アメリカの女性たちがパンと参政権を求めておこした行動に学び、1910年、第1次世界大戦を前にコペンハーゲンでの第2回国際社会主義女性会議でクララ・ツェトキンが提案、世界の女性の統一行動日として創立されました。

1917年3月8日におこなわれたロシアの国際女性デー以後、世界の女性が立ち上がる日となっています。1977年には国連デーとなり、国連事務総長が毎年メッセージを発表する全世界のとりくみとなっています。

日本でも

1923年、婦人講演会として開いたのが最初です。天皇制国家の弾圧で集会を開けなくなっても、個人宅で集い、女性デーを守りつづけました。

1947年には戦後初の女性デーがとりくまれ、49年には1万5000人が日比谷小音楽堂を埋めつくしました。その後も、女性の切実な課題をかかげ、平等・開発・平和をめざす世界の女性運動と連帯して発展しています。

平和を愛する女性とともに



SS化粧水
100ml 2,620円

SS乳液
80ml 2,470円

BiエッセンスII (美容液)
28ml 3,570円

SSクリームII <油性>
30g 2,680円

女性たちの「安心、安全な化粧品が欲しい」の願いから生まれたレイラ化粧品

“女性の美しさも平和でこそ”と平和運動に貢献し平和のために行動する

女性たちとともに歩んできました

“美と平和”の願いを未来につないで、

これからもごいっしょに！

美と平和へのかけ橋

ISO14001登録企業 株式会社ふじ

TEL 0120-73-5051 FAX 0120-88-0814

レイラ化粧品で検索

